

冬季休業後指導 校長あいさつ

皆さん、あけましておめでとうございます。平成24年（2012年）辰年がスタートしました。

さて、昔から日本人は節目（区切り）を大切にしている感性があるといわれています。このことをよく竹の節目に例えられます。

『1年の始まりの元旦、誕生日、入学や卒業、昨日あった成人式など、これらの節目を大切にしましょう。一本空に向けてまっすぐに伸びている竹も節があることで強い風で揺れても簡単には倒れません。もし、節がなければ途中で折れてしまいますが、それぞれの節が揺れを吸収することで、竹は強い風にも負けずに伸びています。人の人生には浮き沈みがあります。竹にも節があるように区切りとなる節目節目を大切に、まっすぐしなやかに伸びていきましょう。』

今日私は56歳の誕生日を迎えました。テレビの飲み菓のCMで「女性は7の倍数、男性は8の倍数の歳に体調に変化が起きる」というのがありますが、まさしく56歳は8の倍数、その体調の変化が起きるという歳になりました。そこで、自分は今までは少々無理をしても大丈夫と自信を持っていましたが、今日の誕生日を機に夜更かしや暴飲暴食をやめ、健康にも気を遣いながら生活していこうと決めました。

皆さんは今年1年どんな年にしようかと考えましたか？「一年の計は元旦にあり」と言われていますが、自分は今年何をしたいのか、何をしなければならないのか、何ができるのかをよく考えて、「今年こそは」と新しい年への決意と目標をもって頑張ってください。

今日から授業が始まります。そして、いよいよ3年生は進路決定に向けての入試が近づいてきました。万全の体制で入試に臨めるように風邪などひかないように健康にも十分気を付けてください。また、1・2年生は進級に向けての準備の時期であると同時に、今年度の締めくくりの時期でもあります。3月には、また新たな節目に向けての決意と目標を立て、人生に立ちほだかる様々な出来事に負けない竹のような生き方をしていきましょう。

以上で年頭のあいさつを終わります。